

# 誰もが自分らしく伸びやかに生きられる地域づくりをめざして

## 手づくり記録集完成 四季の会

「四季の会」は、1997年に発足した、江東区女性大学第4期修了生の自主グループです。

月に一度例会をもち、女性大学(現・パルカレッジ)で学んだ男女共同参画を中心に、女性と法律・経済などさまざまなテーマで学習会を開いています。また、年1〜2回は、美術館や都内を散策することもあります。

女性大学の28回の講義で、江東区について深く理解でき、同時に参

手作りの「宝物」ができたことを嬉しく思います。

発足して12年。この会で生まれた仲間たちの温かさを大切に、自分と地域の将来のよりよいありようを求めながら、ゆっくり活動していきたいと考えています。



会員皆で力を合わせて完成させた手づくりの記録集。男女共同参画推進センター資料室でご覧いただけます。

画することの大切さを学びました。受講後、区の事業・委員会・審議会などに参画し、よりよい江東区づくりのために行政と手を携えて活動する会員が増えました。



代表・金田恵美子さん(後列右端)と、取材当日出席された会員の皆さん

問合せ先 ☎ (3636)3499(代表・金田恵美子さん)



熱心に研修を受けるリサイクル推進員

また、製品プラスチックや

①出張説明会での説明やメッ

区では、資源の有効活用と最終処分場の延命を図るため、3月30日(月)から、これまで不燃ごみとして収集していた「容器包装プラスチック」(プラマークが付いたもの)を資源として回収します。その他、発泡トレイなど発泡プラスチックも集積所で回収します。

また、製品プラスチックや埋立処分場の見学会や説明会に向けた研修が開かれました。

推進員の活動とは

ゴム、皮革製品は「燃やすごみ」として焼却し、発生する熱エネルギーを発電などに利用します。資源・ごみの分別方法や収集方法の変更に伴い、収集日と回数が変わります。

リサイクル推進員制度発足

昨年12月17日、新しい分別方法の周知等にご協力いただき「リサイクル推進員」制度を発足させました。

区では、区在住・在勤の80名の方にリサイクル推進員を委嘱。委嘱式では、「新しい分別方法を成功させよう」と皆さんの意気込みがひしひしと伝わってきました。

その後、リサイクル施設や埋立処分場の見学会や説明会に向けた研修が開かれました。

②地域でのごみ出しの手法となること。

③身近な方に、リサイクルをはじめとした、3Rの必要性などについて様々な機会を通じてPRすることです。

【問合せ先】清掃リサイクル課 ☎ (3647) 9181

セージを伝えること。説明は、変更点の説明だけでなく、ごみを分別するとき、どのようなことに迷ってしまうのかなど、生活者の目線で工夫しながら一生懸命説明し、非常に好評です。



区在住・在勤80名の方がリサイクル推進員として委嘱されました。

3/30 新ルールスタート

明るく住みよい江東区の未来づくりに 貢献する皆さんの活動を紹介しします。

# 地域マイキイキ!

## NPOを支援するNPO さまざまな市民活動を応援

特定非営利活動法人 NPO・えん URL: http://npo-en.com/

私たち「NPO・えん」は1998年に生活協同組合パルシステム東京のNPOサポートセンターの運営受託を出发点に設立。その後、江東区の委託事業で23区内のNPO実態調査や江東区NPOマップの作成など、「NPO



代表理事・本間恵さん(右端)と事務局スタッフ

活動の基本は市民参加」という考えのもと、まちづくりのサポート活動を行っています。

「女性のためのジョブクリエイト事業」(登録制)も主要な活動のひとつとして実施しています。講座やセミナーなどを通じた女性のキャリア形成の応援だけ

ではなく、登録者が資格や特技、専門分野を生かして「資産運用」「アロマ」などの講座を開催できるようにお手伝いする「講座開催支援」を行っています。これは、企画

相談から広報協力、チラシ作成など、講座を開催するのに必要なさまざまなサポートを行うものです。

加えて、家事援助団体や子育て支援団体など地域のNPOの情報提供、NPO法人の設立や起業相談、運営に関する相談などの支援活動も行っています。

今後は女性人材をネットワーク化してお互いに連携、協力しあえるような環境の整備、お子さんからご年配の方まで多世代で交流できるような活動にも力を入れていきたいと考えています。地域情報の収集やイベント開催時のお手伝いなど、ボランティアスタッフを歓迎しています。お気軽にお問い合わせ下さい。



スタッフは全員女性で、事務局に4〜5名常駐

問合せ先 ☎ (3522)0302

## 地域防災で活躍する女性

防災訓練でも実力発揮 深川消防団女性団員の皆さん

深川消防団の団員数は、定数290名のところ現在306名で、女性団員41名が在籍しています。

消防団員は、受持ち区域に火災が発生の都度、出動。火災現場では逃げ遅れた人の情報収集、危険区域を設定し群衆の整理やホースを使い消火活動後の残火処理等多岐にわたった活動を行っています。また、各分団でポンプ操法のスピード・規律や行動を



消防職員よりポンプ車の各種性能の説明を受ける消防団員



左から、第3分団・中島沙江子さん、第6分団部長・長谷川恵津子さん、第9分団・木村満恵さん

各町会・自治会で行われる防災訓練に指導員として参加すると、女性だと親しみがわくのか、地域の方々が気軽に声をかけてくださいます。これからも、地域に密着した女性団員として貢献していきたいと思っています。【「つけましたか?」住宅用火災警報器

問合せ先 ☎ (3642)0119 深川消防団事務局

## 環境問題で活躍する男性

「えこっくる江東」の講座に参加して 「えこっくる江東」エコサポーター 谷口俊二さん

昨年、潮見にある「えこっくる江東」が主催するエコサポーター養成講座を受講しました。

エコサポーターとは、地域の環境保全、環境に関する学習や活動などの拠点である「えこっくる江東」に、多くの方に足を運んでもらえるようサポートするボランティアです。

受講後は、エコサポーターとして、来館した方々にエコライフについてレクチャーするなどの活動をしています。

このほか、「クリーンエネルギー江東」という任意団体が、太陽光発電や省エネにも取り組んでいます。昨年夏には「出前授業」と称して区内の小学校に出向き、校庭にソーラークッカーを30〜40台持ち込み、太陽光でお湯を沸かしてゆで卵やカレーライスを作りました。最近の子どもたちは「エコ」をよく知っていて、反応もいいですね。「勉強になった」と大喜びでした。



太陽光の熱エネルギーで調理ができるソーラークッカーについて熱く語る谷口さん



「えこっくる江東」で、参加者たちにレクチャーするエコサポーター

東」という任意団体が、太陽光発電や省エネにも取り組んでいます。昨年夏には「出前授業」と称して区内の小学校に出向き、校庭にソーラークッカーを30〜40台持ち込み、太陽光でお湯を沸かしてゆで卵やカレーライスを作りました。最近の子どもたちは「エコ」をよく知っていて、反応もいいですね。「勉強になった」と大喜びでした。このようなかかわりを通して、多くの方に「えこっくる江東」に足を運んでいただき、エコライフを推進していきたいと思っています。

## マンション防災備蓄計画に女性ならではの視点を生かして ファミール浜園 鈴木邦子さん

ファミール浜園は1981年塩浜に建てられた大型マンションで、466世帯、約千数百名の人が住んでいます。

入居開始当初よりマンションの管理組合が行政に働きかけ、さまざまな改善をしてきました。現在は管理組合とマンションの住民からなる町会とが連携し、マンションの住環境整備に



防災担当理事の山口浩さん(左)と鈴木邦子さん(右)

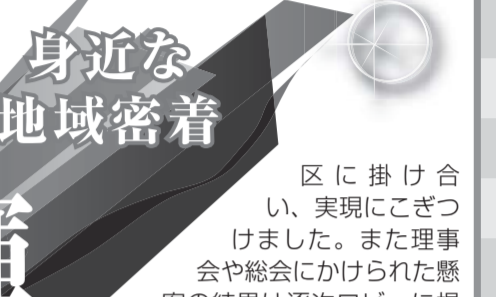
ついて互いに補完しながら活動しています。私はマンションの環境修繕委員会の委員、町会防災役員、また災害ボランティアのメンバーです。住民の要望や自分で気づいた意見を管理組合に相談しています。災害時の避難場所については、近隣に移転してほしいと管理組合が

区に掛け合い、実現にこぎつきました。また理事会や総会にかけられた懸案の結果は逐次ロビーに掲出するので、住民への情報伝達

はかなり行き届いています。年2回実施している防災訓練は、毎回50〜60名の方が参加されます。AEDの使い方もひとつとつても、皆さん真剣に訓練を受けています。

最近では、全体的に住民の高齢化が進んでいますので、防災備

蓄面の整備に力点を置いています。昨年11月に行われた管理組合の総会では、避難用具や食料などの備蓄用倉庫の建設が決定しました。テント型トイレの購入など、女性への配慮もお願いしています。今後も、管理組合や町会にどんどん要求していきます(笑)。



防災訓練では消防団員に AED の使い方を教わりました。これでいざというときも安心!

## グループ活動支援

男女共同参画 自主学習助成金受付中

区では、男女共同参画の推進や女性の社会参加、地位の向上に役立つ自主的な学習会、講演会などの講師

料を左記により助成しています。現在、来年度の助成金の申込みを受付しています。【助成金額】講師謝礼として、1グループ年1回、1事業2万円まで【対象】5人以上で、区内在住・在勤が3分の2以上の自主的グループ

※ただし、他の制度から助成金、補助金を受けている場合は利用不可

【申請・問合せ先】人権推進課 ☎ (3647) 1163



学習会「アフガニスタンの女性と子供」を実施されたYA会の皆さんと小林豊講師

自主学習助成金受付中

いところにも他の真実があることを示唆会のメンバーは、女性蔑視、人権侵害を深く考える機会になったそうです。